

4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [トリフミン水和剤](#) 3 【3,000～5,000倍 前日／5回】
- ・ [シグナムWDG](#) 1 1 7 【1,500～2,000倍 前日／2回】
- ・ [ラリー水和剤](#) 3 【4,000～8,000倍 前日／3回】

褐斑病

防除方法

- 1 被害株は早めに取り除き、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 密植を避け、通風を良くする。
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) 1 【2,000倍 前日／3回】

ウイルス病

留意事項

- 1 種子、アブラムシ類により伝染する。
- 2 生育初期にアブラムシ類の防除に努める。

防除方法

- 1 健全種子を用いる。
- 2 子葉展開時から有翅アブラムシ類の防除に努める。
【アブラムシ類の項参照】
- 3 除草を徹底する。

アブラムシ類

留意事項

- 1 スタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤は同一成分ジノテフランを含み、総使用回数は3回以内（但し、株元散布は1回以内、散布は2回以内）。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A 【2,000倍 前日／2回】
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 4 A 【豆類（未成熟 除えだまめ、さやいんげん、さやえんどう） 4,000倍 7日／3回】
 - ・ [ウララDF](#) 2 9 【2,000～4,000倍 前日／2回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【豆類（未成熟 除えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、未成熟そらまめ）

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

3,000倍 14日／3回】

ナモグリバエ

留意事項

- 1 散布開始適期は3月下旬である。
- 2 パダンSG水溶剤は、眼に刺激性があるので眼に入らないように注意する。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を10日間隔で2～3回散布する。
 - ・ [アファーム乳剤](#) 6
【豆類（未成熟 除さやいんげん） ハモグリバエ類 2,000倍 3日／2回】
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5 【ハモグリバエ類 5,000倍 前日／2回】
 - ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 1 4 【1,500～3,000倍 前日／3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【豆類（未成熟 除えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、未成熟そらまめ） ハモグリバエ類 3,000倍 14日／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。